

よこはま 海さんぽMAP



出典：表紙の地図は、国土地理院の「標準地図」をもとに作成しています。

よこはま海さんぽMAP

作成 横浜市環境創造局環境科学研究所
〒221-0024 横浜市神奈川区恵比須町1番地
澁澤ABCビルディング1号館5階
TEL：045-453-2550 FAX：045-453-2560
令和3年3月発行

本マップは、令和2年12月の情報に基づき作成されたものです。

出典：裏表紙の地図は、国土地理院古地図コレクションサイト
(<https://kochizu.gsi.go.jp/>)の「迅速測図原図(フランス式彩色図)」
をもとに作成しています。

よこはま海さんぽMAPについて

横浜といえば「海」。そんなイメージを持たれる方も多いのではないのでしょうか。横浜の海は埋立の歴史とともにだんだんと変わってきました。それでもまだ自然の海岸線が残るところ、干潟や小さな砂浜がみられるところ、生き物が見られるところもあります。このMAPのなかではそんな場所も紹介しています。海さんぽを通して、より多くの人に楽しみながら横浜の海について興味を深めていただければ幸いです。

“海さんぽ”の楽しみ方

海の生き物

横浜のような都会の海でもいろいろな生き物がいます。岸壁にはカキ、砂浜には海藻や貝、カニも。海が好きな鳥も集まります。

 <p>ミドリイガイ 海外から日本に 来た貝。 貝殻はきれいな 青緑色。</p>	 <p>アマクサ アメフラシ 秋に大量に砂浜 にうち上がって いることも。 触ると柔らかい。</p>	 <p>ゴカイのなかま のフン 砂浜で見られま す。面白い形。 ぶるぶるの塊は ゴカイのたまご。</p>	 <p>ワカメ 海の中にあるワ カメは普段見る ワカメと色が違 います。ゆでる ことで色が変化 します。</p>
 <p>アオサ 夏に増えすぎて 砂浜の波打ち際 一面を覆ってし まうことも！</p>	 <p>アメフラシの なかまのたまご 「海そうめん」 とも呼ばれます が、どちらかと いうとラーメン みたい？！</p>	 <p>クサブグ 体はきれいな水 玉模様。体に毒 を持っています。</p>	 <p>ハゼのなかま 下の砂利にまぎ れて敵に見つか ないようにし ているよ。</p>

旧海岸線

このMAPには旧海岸線（明治時代）のおおよその位置が描かれています。昔から海と近かった横浜ですが、時代とともに埋め立てが進み、海岸線も変化していきました。横浜の海岸の変化を感じながら歩いてみましょう。普段は見えていなかった奥深い横浜の海の歴史が見えてくるかもしれません。

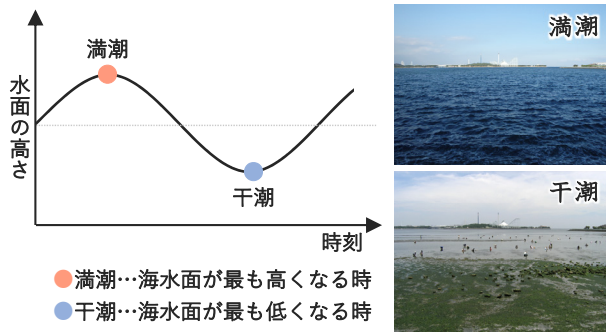
写真を撮る

順光では海は鮮やかな青に映ります。日が低いとき（朝や夕方）逆光の位置ではキラキラとしたモノトーンの海が撮影できます。太陽の高さや方向を意識すると、いろいろな海が楽しめます。また、水平線が傾かないように撮影するのもいい写真のポイントです。



潮位

海では、主に月の引力によって海面の高さが変化します。それを潮位と言い、場所や時刻によって異なります。海さんぽに行く際は、潮位を調べてから行ってみましょう（インターネットなどで調べることができます）。潮位によって見える景色や見える生き物が全然違います。野島海岸などで干潟の生き物を見るには、最も潮位の差が大きい、大潮の干潮時がおすすめです。



気をつけてほしいこと

- ・住宅地や寺社では静かに歩きましょう。
- ・生き物を触りすぎたり、暑いところにおいておくと弱ってしまう場合があります。
- ・生き物の観察をしたら元の場所に返しましょう。また、石などを動かしたらもともどもどしましょう。
- ・ごみは持ち帰りましょう。

アンケートご協力をお願い

「よこはま海さんぽMAP」に関するアンケートに、ご協力をお願いします。右に記載している二次元コードまたは<https://www.e-shinsei.city.yokohama.lg.jp/yokohama/uketsuke/form.do?acs=yokohamaumisanshipmapsurvey>からアンケートページにお進みください。みなさまからのご意見・ご感想お待ちしております。



地図の凡例

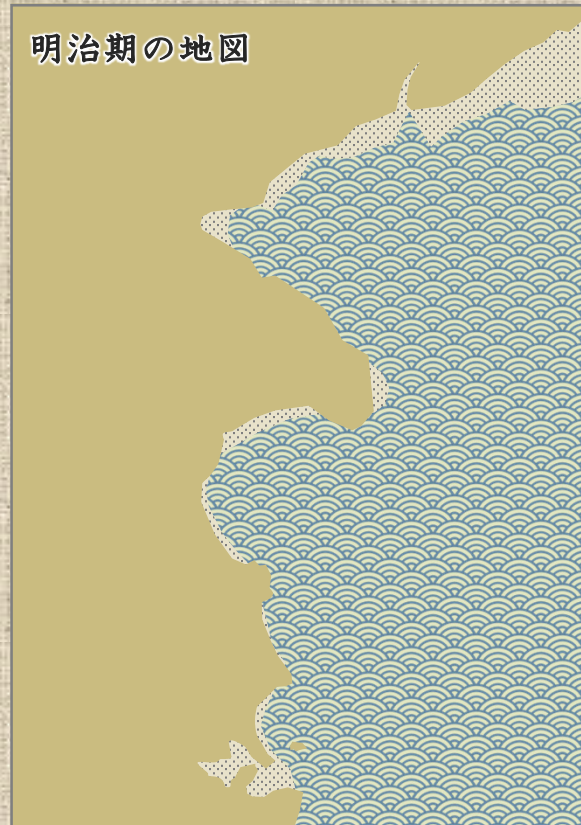
- トイレット
- 24h コンビニエンスストア
- 信号機
- 神社
- 寺院
- 博物館・資料館
- 休憩ポイント
- フォトスポット
- チェックポイント (注目してほしいところ)

本マップのダウンロードはこちらから
豊富な海づくり事業

横浜の埋立の歴史

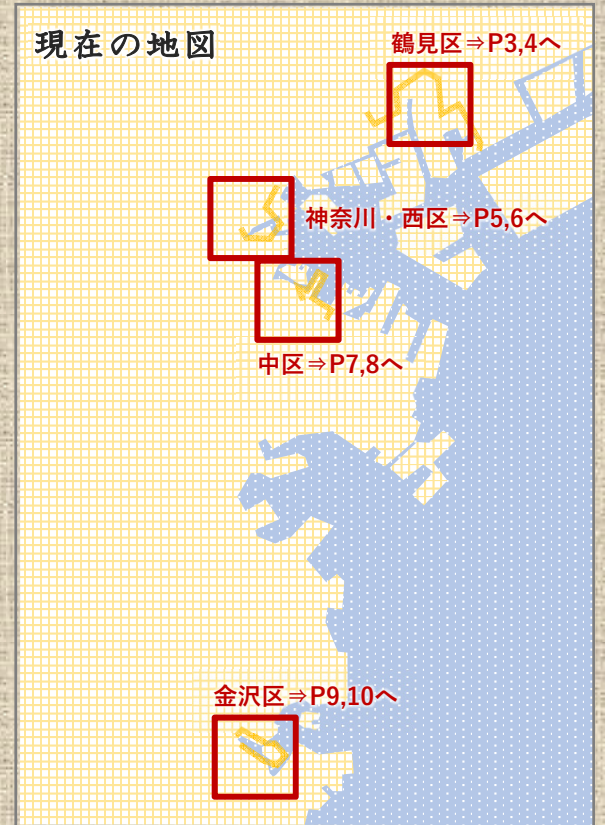
横浜の海は、埋め立ての歴史とともに変化してきました。ここでは、横浜の海とは切り離すことのできない埋め立ての歴史を紹介します。

明治期の地図



この地図は、国土地理院古地図コレクションサイト(<https://kochizu.gsi.go.jp/>)の「迅速測図原図(フランス式彩色図)」をもとに作成しています。

現在の地図



この地図は、国土地理院の「標準地図」をもとに作成しています。

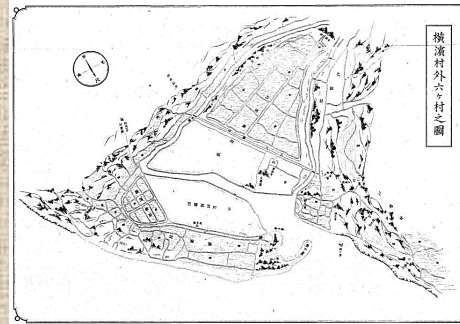
このMAPでは、表紙に現在の横浜の海岸線の絵図、裏表紙に明治期の横浜の海岸線の絵図を載せています。比較してみると、ほとんどの海岸が埋め立てられていることに気付くと思います。

横浜の埋め立ての歴史は江戸時代初期、吉田新田に始まります。当時、横浜のように坂が多く平地の少ないところでは、埋め立てが行われ、食料を作るための農地として利用されてきました。その後、横浜の埋め立ての目的は港湾整備や、工業地帯・娯楽施設の設置など、時代とともに変化していきました。現在横浜市は、北海道小樽市に次いで2番目に埋め立て面積が大きい市町村です(「平成25年全国都道府県市区町村別の面積」国土交通省国土地理院より)。

横浜の海岸線は約140km。神奈川県海岸線の長さは約430kmなので、横浜の海岸線は神奈川県海岸線の約三分の一を占めます。しかし、立入が禁止されている海岸もあるため、このうち実際に歩くことができるのは約14kmしかありません。

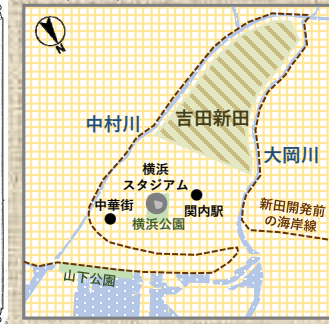
吉田新田

「横濱村外六ヶ村之図」



横浜市中央図書館所蔵
『横浜沿革誌』書誌番号3-0190481852 所収

「現在の横浜」



横浜市地形図複製承認番号 令2建都計第 9010 号)
(横浜市都市計画図をもとに作成)

吉田新田は、阪東橋や伊勢佐木長者町のあたりが釣り鐘状の入海だった頃、新田開発の1つとして吉田勤兵衛によって埋め立てられました。

現在観光地としても多くの人でにぎわう、中華街や横浜スタジアムや山下公園も昔は全部海でした。

この地域の一部は、吉田勤兵衛に因んで「吉田町」と名付けられ、今でも町名としてその歴史が残っています。



鶴見

海をめざして ～海と歴史を感じながら
ゴールで海の絶景に出会う～

鶴見区埋め立ての歴史

鶴見はかつて、農業や漁業が盛んな地区で、海辺では潮干狩りや海水浴も行われていました。大正時代から工業地帯造成のための埋め立て工事が進められていき、現在では鶴見区の総面積の約3分の1が埋立地となっています。鶴見の街を歩くと、明治時代の海岸線を境に、埋め立てられた土地には企業の工場などが多く並んでいるを感じることができます。

1 じゃか蛇も蚊も祭り

原の神明社と道念稲荷神社で行われる祭り。かやで作った20mほどもある蛇を担いで町内を回ります。



約300年前から続く伝統的な行事で、一説には悪疫が流行した際に、かやで作った大きな蛇に悪霊を封じ込めて海に流したことが始まりだと言われています。

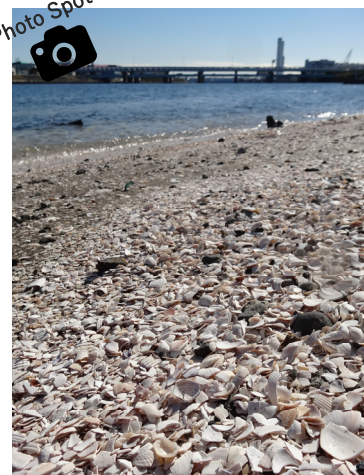
2 生麦魚河岸通り



年に一度の生麦旧東海道祭りでは、多くの人でにぎわいます。通りを右に曲がり貝殻浜を目指しましょう。

3 貝殻浜(鶴見川河口干潟)

Photo Spot



貝殻が積もった真っ白な干潟。いろいろな形の貝殻が落ちています。水辺の鳥、カニ、ハゼのなかまなど、多くの生き物が生息しています。横浜市北部唯一の干潟。大切にしたいですね。



所要時間
約1時間

距離
約4.5km
+ 弁天橋駅
～海芝浦駅

Start

Goal

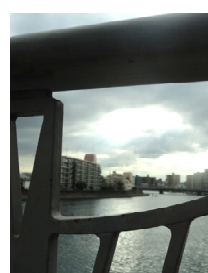
電車の本数が少ないので、事前に行き帰りの時刻表をチェックしよう！

JR線 京急線

明治期の海岸線

出典：地図は、横浜市の都市計画図をもとに作成しています。
【横浜市地形図複製承認番号 令2建都計第9010号】
明治期の海岸線は、国土地理院古地図コレクションサイトの「迅速測図原図(フランス式彩色図)」をもとに作成しています。

4 潮鶴橋



潮鶴橋周辺の潮田地区は、昔は海に面した田園地帯でしたが、鶴見周辺の埋め立てをきっかけに、工場で働く人たちが住む町へと変化していきました。周辺には、地名が用いられた潮田公園・潮田神社もあります。

5 潮田神社



かつては海浜に位置しており、漁船が大漁祈願に訪れるなど信仰を集めました。

江戸時代の文人、蜀山人の「調布日記」にも登場する「海翁石」で造られた手水場。



6 海芝浦駅と海芝公園



つばさ橋や行きかう船、夜は工場の明かりが見える。絶景！

コラム

横浜市は、鶴見川河口で生き物の調査をしています。



きれいな水を好む魚も多く確認されています。



温暖化の影響とみられる、南方系の生き物の生息も確認されています。



詳しくは… 横浜の川と海の生物 検索

※改札を出ることはできません。
※往復の乗車券が必要です。



駅の先には公園があります。

Photo Spot



神奈川・西

～歴史のこる街、神奈川区から横浜の中心、西区をめざして～

距離
約4.0km

所要時間
約1時間

神奈川区・西区埋め立ての歴史

“横浜の父”とも呼ばれる高島嘉右衛門は、鉄道用地の埋め立てに力をつし横浜の発展に大きく寄与したと言われています。横浜（現在の桜木町）から神奈川までの間の埋立事業を行い、その名は神奈川区の「高島台」や西区の「高島一丁目」「高島二丁目」の地名として残っています。このルートでは、もともと陸地だった神社や歴史が残る場所から、埋め立てられた新しい街並みへの変化を味わうことができます。

5 高島水際線公園



▲ 潮入りの池は、帷子川の河口とつながっており、海の水と川の水が混ざり合っています。こういった場所にはカニがたくさんいたりします。

JRの貨物線を境に東側と西側に分かれています。対岸のポートサイド公園やペイクォーターを眺めながら、のんびり過ごせます。

4 みなとみらい橋



ウミネコ
ハマウイング

橋の上からは、ハマウイング、ベイブリッジを眺めながら海を感じることができます。運が良ければシーバスや軍艦船も見ることができるかもしれません。橋の中央には、神奈川区と西区の境目があります。ここから先は西区の海さんぽです。

1 慶運寺(別名:浦島寺)



慶運寺は、室町時代に定運社音嘗聖観によって創建されたと伝えられており、横浜が開港した際にフランス領事館として使われていたとされています。明治期に浦島太郎伝説が伝えられていた観福寿寺と合寺したことから、浦島寺と呼ばれています。観音堂には、竜宮城に行ったときに乙姫から授けられたとされている観音像が安置されています。

JR線
 京急線
 みなとみらい線
 東急東横線
 市営地下鉄線
 明治期の海岸線

出典：地図は、横浜市の都市計画図をもとに作成しています。
【横浜市地形図複製承認番号 令2 連都計第 9010 号】
明治期の海岸線は、国土地理院古地図コレクションサイトの「迅速測図原図（フランス式彩色図）」をもとに作成しています。

2 成仏寺



▲ 本堂の左側には、浦島太郎が両親の死を悲しみこしかけて泣いたとされている涙石があります。

成佛寺は、横浜が開港した際にアメリカ人宣教師の宿舎として使われていたとされています。

3 横浜市中心卸売市場



横浜市中心卸売市場は、昭和6年に全国で3番目に開設された歴史ある市場です。日本全国から生鮮食料品が集められ、横浜市のみなさんの食卓に安全で新鮮な美味しい食が届けられています。また、市場の一般開放日には、マグロの解体ショーなどのさまざまなイベントが開催されています。

※ 新型コロナウイルスの影響で、当分の間イベント開催を見合わせています。詳しくは、横浜市中心卸売市場HPをご覧ください。



コラム



神奈川区に伝わる浦島太郎伝説は、一般的に親しまれているお話とは内容が少し違います。ある日、太郎が大きな亀を釣ると、その亀が乙姫となり竜宮城に連れて行ってくれました。太郎が竜宮城から家に帰ろうとすると、乙姫は別れを惜しみ玉手箱と観音ぼさつを太郎に授けました。故郷に帰ると、この観音ぼさつのお告げにより、両親がすでに亡くなっておお墓が神奈川にあることを知ります。その後、太郎は神奈川に向かい両親のお墓のそばに観音像を安置したと伝えられています。



中
山下公園に砂浜！？
～あなたの知らない
都会の海～

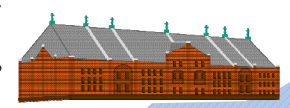


中区埋め立ての歴史

中区は、横浜の開港後から港町として日本人だけではなく外国人も生活をする場所でした。日本人と外国人の接触を避けるための関門の内側は関内と呼ばれ、横浜の行政や経済の中心として発展していきます。その後、関東大震災や横浜大空襲の被害を大きく受けましたが、復興とともに港湾整備や埋め立てが進められ、現在の姿へと発展してきました。

距離
約3.5km

所要時間
約1時間



4 象の鼻・象の鼻パーク

高波の影響をなくす堤防として、1867年に完成した象の鼻。現在では水上タクシー乗り場があり、周辺は公園(象の鼻パーク)になっています。象の鼻パークでは、「スマートイルミネーション横浜」などの各種イベントも行われます。カフェもあります。



3 大さん橋

横浜港大さん橋国際客船ターミナル提供



横浜港大さん橋国際客船ターミナルは、豪華客船が入出港する横浜港を代表するターミナルです。屋上は「くじらのせなか」のように見え、芝生の緑地も設けています。横浜らしい景色を一望することができ、時間によって雰囲気ががらっと変わります！



==== みなとみらい線
- - - - 明治期の海岸線

出典：地図は、横浜市の都市計画図をもとに作成しています。
【横浜市地形図複製承認番号 令2建都計第9010号】
明治期の海岸線は、国土地理院古地図コレクションサイトの「迅速測図原図(フランス式彩色図)」をもとに作成しています。

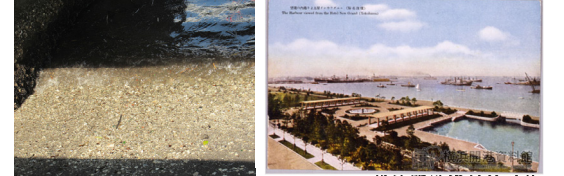


1 山下公園



関東大震災のがれきを埋め立てて造られた日本で最初の臨海公園。護岸とバルコニーは国の登録記念物に指定されています。海中には様々な生き物がいます。秋から冬にかけては護岸から見下ろすと海の底が見えるほど水がきれいです。

【公園内砂浜】 昭和期の山下公園



山下公園には小さな砂浜が残されています。バラの沈床花壇は昔、プール(船溜まり)になっており、プールと海をつなぐ水路に砂がたまって、潮が引くと砂浜が出現します。波音に癒されます。

【石のステージ】



山下公園の端にある、遺跡のような不思議な雰囲気を持つ石のステージ。ステージの近くには生き物の形のタイルがたくさん。いくつ生き物を見つけられるかな！？

2 明治期の絵図

1870年(明治3)頃の横浜港



昔は外国船と日本船で船着き場を使い分けていたそう。④象の鼻・象の鼻パークに行って、2枚の絵図と今の風景を比較してみましょう。

1910年(明治43)頃の横浜港



コラム

横浜市とJFEスチール株式会社の共同研究では、山下公園前海域において生物の生息環境を改善する取組を実施していました。



詳しくは…
横浜 豊かな海づくり 検索
海をのぞくと、生き物たちに出会えるかも！？

金沢

市内唯一！
自然砂浜の残るまち
～歴史ある平潟湾を一周～

距離
約5.5km

所要時間
約1時間

1 瀬戸神社

瀬戸神社は、神聖な場所とされる「せと」に古代から海の神を祀ったのが起源といわれています。鎌倉時代にはここに源頼朝が伊豆三島明神の分霊を祀り、信仰したといわれています。



海に近く、鎌倉市とも近い土地柄から、海の歴史深いスポットがあるのも金沢区の魅力。

2 琵琶島神社



琵琶島神社は、源頼朝の夫人である北条政子が近江（滋賀県）の竹生島弁財天の分霊を祀ったものだといわれています。琵琶島という名前の由来は、島の形が琵琶に似ているからだそう。



岸壁にはカニがいることも。

3 野島公園・野島海岸



野島海岸は横浜で唯一の自然海岸です！潮干狩りのシーズンにはたくさんの方が集まります。

【余裕がある人は展望台に行ってみよう！】

天気の良いと富士山も見ることができます。



【野島海岸で見ることのできる生き物たち】



干潮に近い時間に訪れるとより多くの海の生き物たちと出会えます。アマクサアメフラシは秋に大量に見られることも。

金沢区埋め立ての歴史

金沢区はその昔、景勝地として有名でした。多くの観光客が訪れ、明治時代には別荘が多く建ちました。今回のルートで一周する平潟湾は江戸時代から200年近くに及んだ新田開発や昭和の宅地開発などにより埋め立てが小さくなりました。その後も金沢区では埋め立てが進み、工場や商業施設が立ち並ぶ現在の姿になっていきました。

6 平潟湾プロムナード



うみ散歩も終盤。夕日を眺めつつ海を感じながらゴールの金沢八景駅を目指します。

5 夕照橋

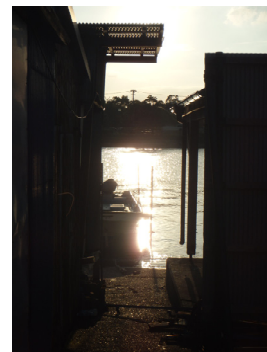


オオバン



Photo Spot

今回のルートの中で一番のフォトスポット！日没の時間を調べて、夕暮れのタイミングに訪れてみてください。素敵な写真が撮れること間違いなし。



4 海沿いの通り

ノスタルジックな海沿いの道。船が並んでいます。



海に近づくことができるスポットも。



ヤドカリ

コラム

砂浜に細かいかけらがたくさん落ちています。これらはプラスチックの破片で、そのうち5mm以下のプラスチックはマイクロプラスチックと呼ばれています。川から海へ運ばれ魚や鳥などが誤って飲みこんでしまうことがあり、問題となっています。

プラスチックごみのない生き物たちが安全に暮らすことのできる海にするために、マイバッグやマイボトルを持ち歩くようにするなど、できそうなことから実践してみましょう！



この丸よりも小さい！

